

茨城県県北地域における鳥獣被害対策モデル地区における取組

鳥獣被害対策モデル地区事業

被害防止対策に意欲的な地区をモデル地区に選定し、鳥獣の生態や被害防止対策等に係る勉強会の開催や鳥獣被害を防ぐための集落環境診断の実施、捕獲の省力化に向けたICT等新技術の実証等の取組を通して、地域ぐるみでの被害防止対策や周辺地域への対策の波及を図る。

高萩市大能地区における取組

ICT技術実証

電気柵電圧監視システム(K社)

大能地区内ほおずきほ場の電気柵(中型獣用)に取り付け、効果実証。

○期待される効果:

電気柵の故障や野草による漏電等、電圧の変化を現地に出向くことなく確認できるため、省力化が期待できる。

○設置方法:既存の電気柵のワイヤーにケーブルを接続

○結果:

電気柵の見回りの手間が減ったほか、夜間や過去の稼働状況も閲覧できるので、異常を早期発見し対応することができた。

利用者の声

システムを設置し確認したところ、実は夜間に電気柵が正常に稼働していなかったことを発見できました。測定履歴機能がとても便利です。

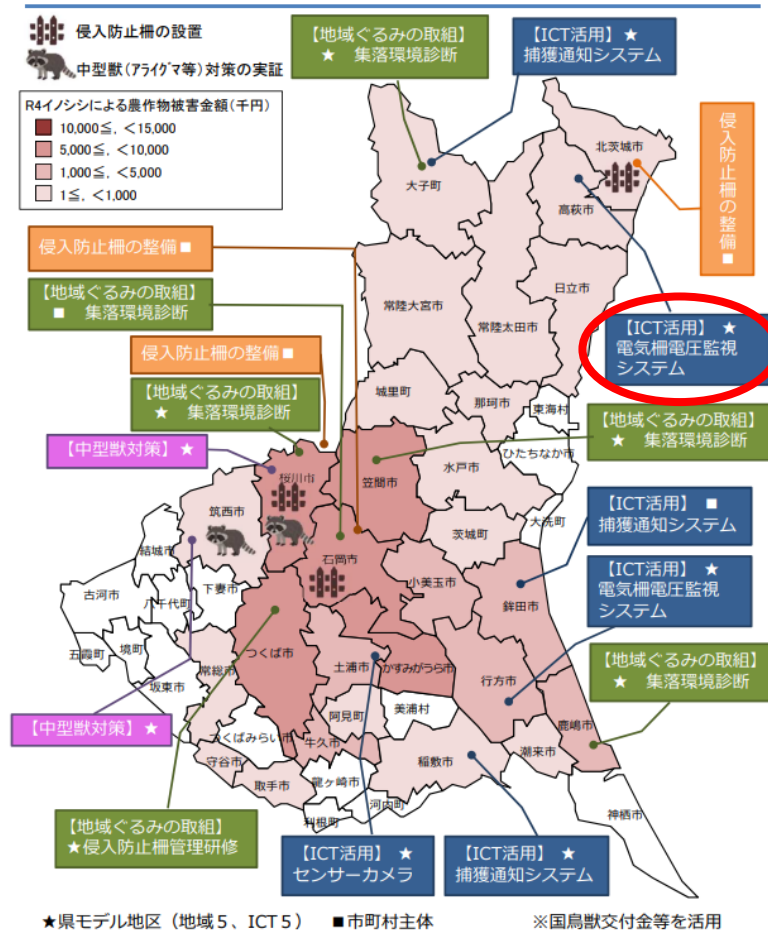
通信時間	電気柵電圧(kV)	電源電圧(V)
2023-07-14 23:43:29	6.3	12.3
2023-07-14 22:43:30	6.3	12.4
2023-07-14 21:43:29	6.4	12.4
2023-07-14 20:43:30	6.6	12.4
2023-07-14 19:43:29	6.6	12.5
2023-07-14 18:43:30	6.8	12.5
2023-07-14 17:43:29		12.6
2023-07-14 16:43:28		12.7

確認画面



本体

R5イノシシ等被害防止対策(地域ぐるみ・ICT活用等)の実施市町村



茨城県県北地域における鳥獣被害対策モデル地区における取組

大子町左貫地区における取組

ICT技術実証

イノシシ捕獲時の通報システム(I社)

左貫地区内のイノシシ用箱わな・罠いわな合計5基に取り付け、捕獲状況を監視。

○期待される効果:

わなの見回りの省力化及び、捕獲された際の迅速な対応が期待できる。

○設置方法

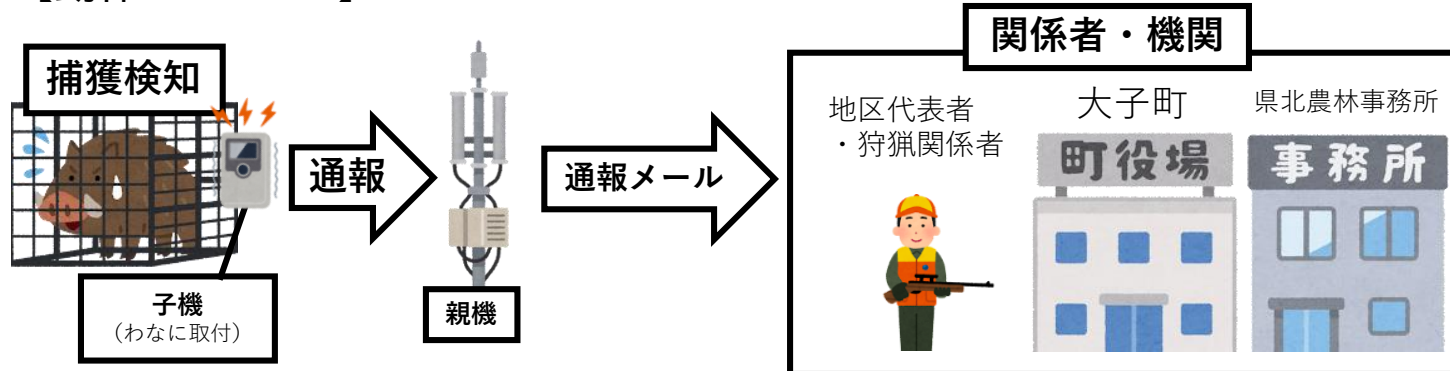
親機:子機の通信圏内にアンテナを設置(導入前電波シミュレーション可能)

子機:わな本体等に括り付けて設置

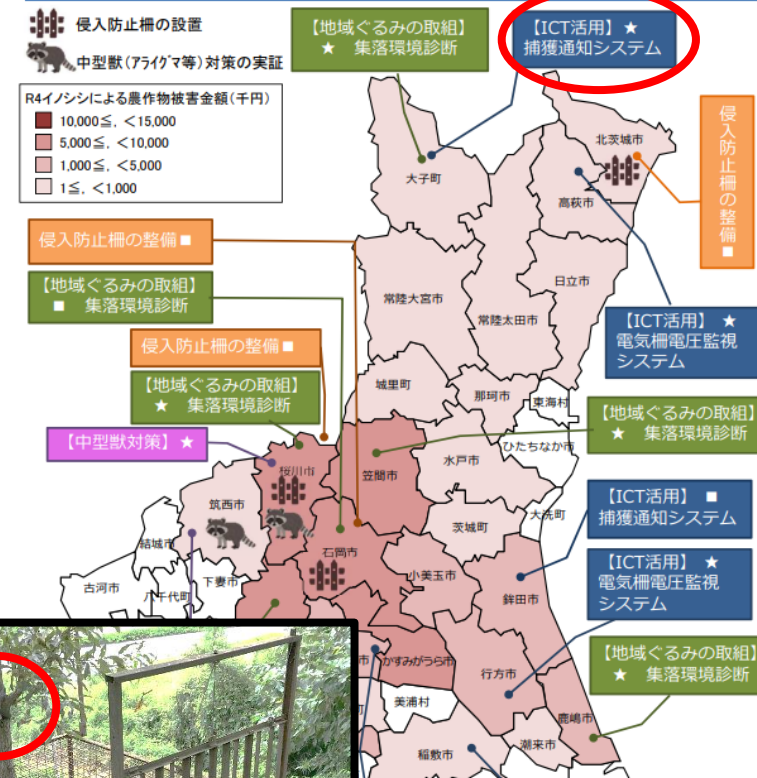
○結果

捕獲通知見回りの効率化・迅速な止め刺しにより、わなの稼働時間をより長くすることができた。

【動作のイメージ】



R5イノシシ等被害防止対策 (地域ぐるみ・ICT活用等) の実施市町村



箱わなへの子機設置



捕獲通報メール

茨城県県北地域における鳥獣被害対策モデル地区における取組

大子町左貫地区における取組

集落環境診断の実施

専門家派遣により、左貫地区における現在の被害状況の把握や被害要因の分析、対策の立案などを実施。

○背景・目的

イノシシ被害防止対策に積極的に取り組んできたが、結果が芳しくない。
住民と行政が連携して課題解決に取り組む必要がある。

【集落環境診断の流れ(PDCAサイクル)】

①Check(評価)

○フィールドワーク

派遣した専門家と共に集落を散策し、被害状況や現在のイノシシ被害防止対策をチェック。



②Action(改善)

○課題提起

住民と行政職員を交えてグループディスカッションを実施。フィールドワークの結果を共有し、集落のイノシシ対策防止対策の課題を整理。



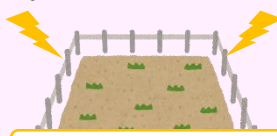
④Do(実行)

○対策の実行

今回の集落環境診断で決定した新対策を集落で実行。行政はそのサポート。



新たな箱わなの設置

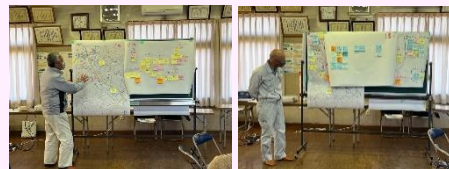


電気柵管理の徹底

③Plan(計画)

○新対策の検討

費用対効果等も考慮しながら、今後のイノシシ被害防止対策方法について検討。



R5イノシシ等被害防止対策 (地域ぐるみ・ICT活用等) の実施市町村



集落地図の作成



課題をグループ化